

花の名は一年草もある故に

忘れず星は忘れやすかり

歌 意

花には一年草もあり、はかないゆえにその名は忘れ難いものですが、天上高く永遠に輝く星の名も、私たちの「明星」も、記憶に残りにくいものです。

掲出歌集 「深林の香」改造社版『与謝野晶子全集』第5巻、

昭和8年(1933)12月

初出 「改造」昭和4年4月号、題は「星」(晶子51歳)

